令和４年度　　授業改善推進プラン　1 年　理科 科

１．日常の学習状況・課題について

（１） 理科に対する興味・関心が高く、80%以上の生徒が授業の内容や進め方に対して肯定的である。

（２）発言をする生徒がクラスの４０％程度にとどまり、自分の意見をまとめて発表するのに課題がある生徒が多い。

（３）自宅で行う課題の提出は全体の９０％程度で、おおむね良い。

（４）グループ活動では、積極的に意見を出し合う班がいる一方、お互いに話をせず個人活動になったり、何もしなくなったりする班がある。

（５）既有知識を結び付けたり、必要なことを調べたりして問題を解決する力に課題がある生徒が多い。

２．改善の計画

（１）学習面

- 少人数で話し合う活動を増やし、意見を発表する機会を増やす。
- ICT 機器を用いた調べ学習を増やし、自ら探求する心を育む。
- 小テストや演習を増やし、学習内容の定着を図ったり、実態把握に役立てたりする。
- 教科書や便覧をより活用して、生徒の学習内容の理解を図る。

（２）指導面

- ICT 機器を用いて画像だけでなく動画も提示し、興味・関心を引いたり、生徒が理解しやすいよう支援したりする。
- 発言した生徒を褒めたり、簡単な発問で自信を付けさせたりし、発言しやすい雰囲気をつくる。

３．プランの評価方法

（１）学期ごとに授業アンケートを実施し、変容を確認する。

（２）小テストを実施し、学習内容の定着状況を確認する。